

令和元年度 「言語聴覚の日」イベント報告



栃木県

秋晴れのもと11月9日(土)に栃木県庁で開催された「第11回介護の日フェスティバルinけんちょう」に参加致しました。今年はメインステージと同会場にブースを構えたこともあり、たくさんの方にお立ち寄りいただきました。当日は理学療法士会・作業療法士会とともにリーフレットを配布しながら、言語聴覚士の仕事について説明したり、検査や訓練で用いる物品の展示・体験をしていただきました。高次脳バランサーはお子さんだけでなく、大人の方も楽しんで参加される姿がみられました。

今年は嚥下障害について理解を深めていただこうと、「とろみの試飲」も行いました。とろみについて「聞いた事はあるけど…」「母親には使ってるけど、実際に飲んだことはないです」といった方が多く、実際に飲んでいただくと「これなら飲める」とおっしゃる方もいれば「普通のお茶が飲みたくなるね」など、様々な感想が聞かれました。具体的な使用方法やとろみの程度による違いなど熱心に質問される方もいらっしゃいました。また口腔体操を紹介すると「家でやってみるね」とおっしゃってくださいました。

今回初めてイベントに参加し、地域の方々の声を聞くことができる貴重な機会をいただけたことに感謝致します。言語聴覚士を知らない方もまだまだたくさんいらっしゃいますが、いつでも相談できるような身近な存在になれるよう、活動を続けていきたいと思っております。

